

6 電気掃除機に関する研究 (第2報)

—各社掃除機の畳上の吸塵量の比較—

高知県立高知女子大 市川 一夫
深瀬 亀美
渋谷 孝子

4 電機株式会社製の電気掃除機5種 (T掃除機 350 Watts, N及びH掃除機各 300 Watts, N及びM掃除機各 270 Watts) につき畳上での吸塵量を比べてみた。その結果はM掃除機 (270Watts) が最も吸塵量が多く、N掃除機 (300 Watts), N掃除機 (270 Watts), H掃除機 (300 Watts) の順に、T掃除機が最少であった。M掃除機の吸塵量とH及びT掃除機の吸塵量との間には有意水準5%で有意差が認められた。

N社及びH社の吸込口は周辺にブラシをつけているのに反して、M及びT社の夫は二つの間に多少の相違はあるが、後部にのみブラシを備えている。従って前述の結果に吸込口の構造の影響が無かったかを調べた。その結果M掃除機の吸込口が最も能率的ではあったが、全体として有意的な結果は得られなかった。従って前述のM掃除機の吸塵量の多い原因は本体にあるものとして、使用時の真空度を測定してみた所、M掃除機が最も大きく、吸塵量と真空度は比例することを知った。(各社記載の真空度ではない)